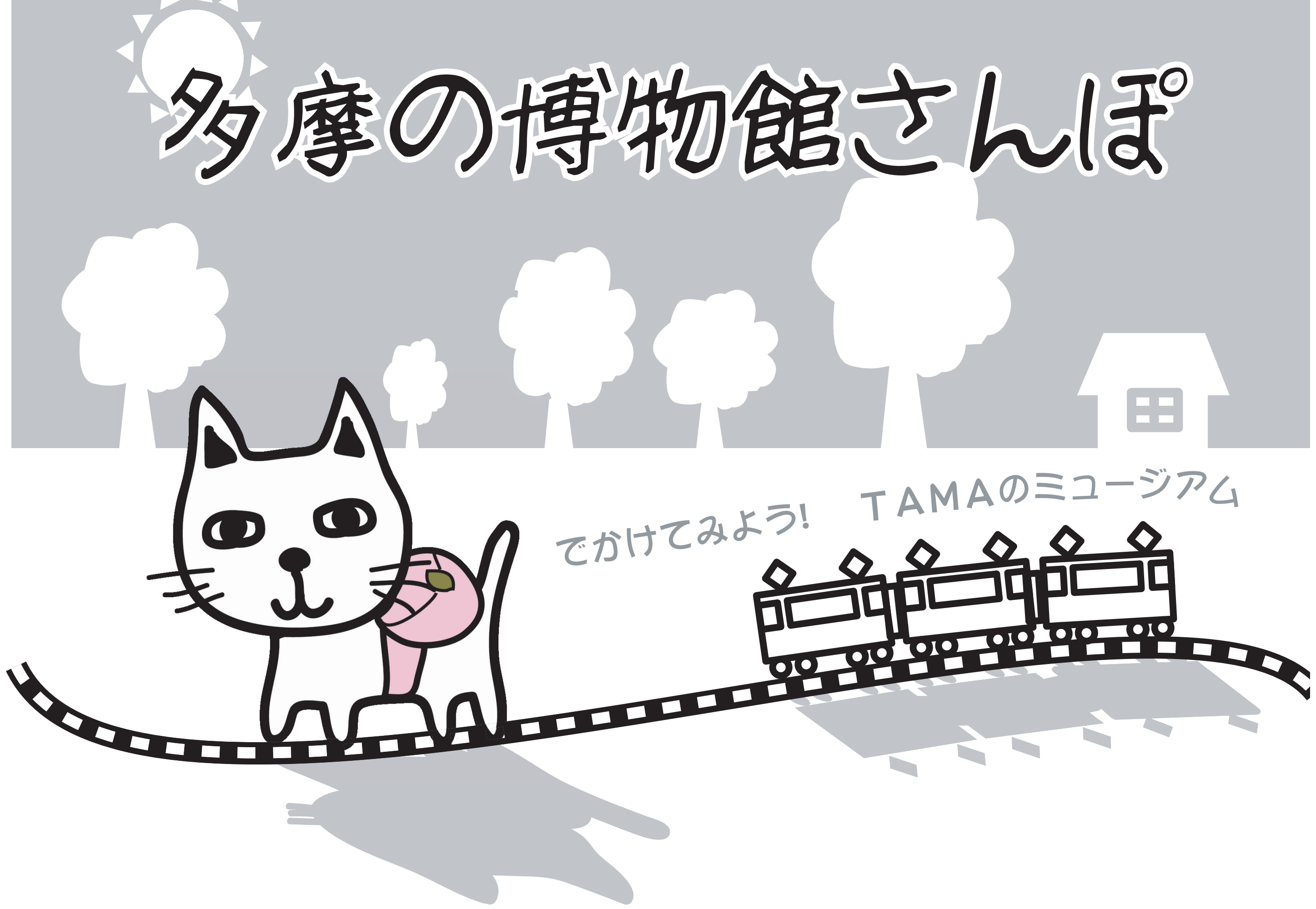
三多摩公立博物館協議会加盟館一覧

No.	館名	住所	電話	交通
1	奥多摩水と緑のふれあい館	〒 198-0223 東京都西多摩郡奥多摩町原 5	0428-86-2731	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	〒 190-0211 東京都西多摩郡檜原村 3221	042-598-0880	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	御岳美術館	〒 198-0173 東京都青梅市御岳本町 1-1	0428-78-8814	JR 青梅線「御嶽駅」下車徒歩 20 分
4	青梅市郷土博物館	〒 198-0053 東京都青梅市駒木町 1-684	0428-23-6859	JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 12 分
5	あきる野市五日市郷土館	〒 190-0164 東京都あきる野市五日市 920-1	042-596-4069	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
6	羽村市郷土博物館	〒 205-0012 東京都羽村市羽 741	042-558-2561	① JR 青梅線「羽村駅」西口下車徒歩 20 分 ②東口コミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
7	八王子市こども科学館 （サイエンスドーム八王子）	〒 192-0062 八王子市大横町 9-13	042-624-3311	JR 中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩 2 分。
8	八王子市郷土資料館	〒 192-0902 東京都八王子市上野町 33	042-622-8939	京王線「京王八王子駅」または JR 中央線「八王子駅」からバス「上野町三丁目」下車
9	集合住宅歴史館（独立行政法人都市再生機構 技術研究所）	〒 192-0032 東京都八王子市石川町 2683-3	042-644-3751	① JR 八高線「北八王子駅」下車徒歩 10 分② JR 八王子駅より大和田、東海大学病院経由 宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩 5 分
10	福生市郷土資料室	〒 197-0003 東京都福生市熊川 850-1	042-530-1120	JR 青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩 7 分
11	瑞穂町郷土資料館	〒 190-1211 東京都西多摩郡瑞穂町石畑 1962	042-568-0634	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 18 分
12	武蔵村山市立歴史民俗資料館	〒 208-0004 東京都武蔵村山市本町 5-21-1	042-560-6620	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩 1 分
13	立川市歴史民俗資料館	〒 190-0013 東京都立川市富士見町 3-12-34	042-525-0860	JR「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車徒歩 5 分
14	日野市郷土資料館	〒 191-0042 東京都日野市程久保 550	042-592-0981	①多摩都市モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分 ②モノレール「程久保」下車徒歩 7 分
15	首都大学東京 91 年館	〒 192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1	042-677-1111	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約 5 分
16	東大和市立郷土博物館	〒 207-0031 東京都東大和市奈良橋 1-260-2	042-567-4800	西武拝島線「東大和市駅」からイオンモール行きバス「八幡神社」下車徒歩 2 分
17	東村山ふるさと歴史館	〒 189-0021 東京都東村山市諏訪町 1-6-3	042-396-3800	西武新宿・国分寺線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分
18	国立ハンセン病資料館	〒 189-0002 東京都東村山市青葉町 4-1-13	042-396-2909	西武池袋線　清瀬駅南口から　西武バス 久米川駅行き・所沢駅行きで約 10 分（「ハンセン病資料館」で下車）
19	くにたち郷土文化館	〒 186-0011 東京都国立市谷保 6231	042-576-0211	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 8 分
20	たましん歴史・美術館	〒 186-8686 東京都国立市中 1-9-52	042-574-1360	JR 中央線「国立駅」南口前
21	パルテノン多摩 歴史ミュージアム	〒 206-0033 東京都多摩市落合 2-35	042-375-1414	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
22	東京都埋蔵文化財センター	〒 206-0033 東京都多摩市落合 1-14-2	042-373-5296	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
23	町田市立博物館	〒 194-0032 東京都町田市本町田 3562	042-726-1531	小田急線・JR 横浜線「町田駅」から藤の台団地行きバス「市立博物館前」下車徒歩 7 分
24	府中市郷土の森博物館	〒 183-0026 東京都府中市南町 6-32	042-368-7921	京王線・JR 南武線「分倍河原駅」から京王バス郷土の森総合体育館行きバス「郷土の森正門前」下車
25	小金井市文化財センター	〒 184-0003 東京都小金井市緑町 3-2-37	042-383-1198	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口からココバス北東部循環⑬「小金井公園入口」下車 徒歩 5 分
26	江戸東京たてもの園	〒 184-0005 東京都小金井市桜町 3-7-1	042-388-3300	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口からバス 7 分「小金井公園西口」下車
27	東京農工大学科学博物館	〒 184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163	JR 中央線「東小金井駅」南口下車徒歩 9 分
28	清瀬市郷土博物館	〒 204-0013 東京都清瀬市上清戸 2-6-41	042-493-8585	①西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩 10 分 ②駅北口ﾊﾞｽ乗り場 1 番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩 1 分
29	多摩六都科学館	〒 188-0014 東京都西東京市芝久保町 5-10-64	042-469-6100	①西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩 18 分 ②西武新宿線「田無駅」北口よりはなバス多摩六都科学館行き
30	調布市郷土博物館	〒 182-0026 東京都調布市小島町 3-26-2	042-481-7656	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 4 分
31	国立天文台天文機器資料館	〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1	0422-34-3600	中央線武蔵境駅南口から小田急バス「狛江駅行き」天文台前下車、京王線調布駅北口から小田急バス「武蔵境駅南口行き」天文台前下車

三多摩公立博物館協議会

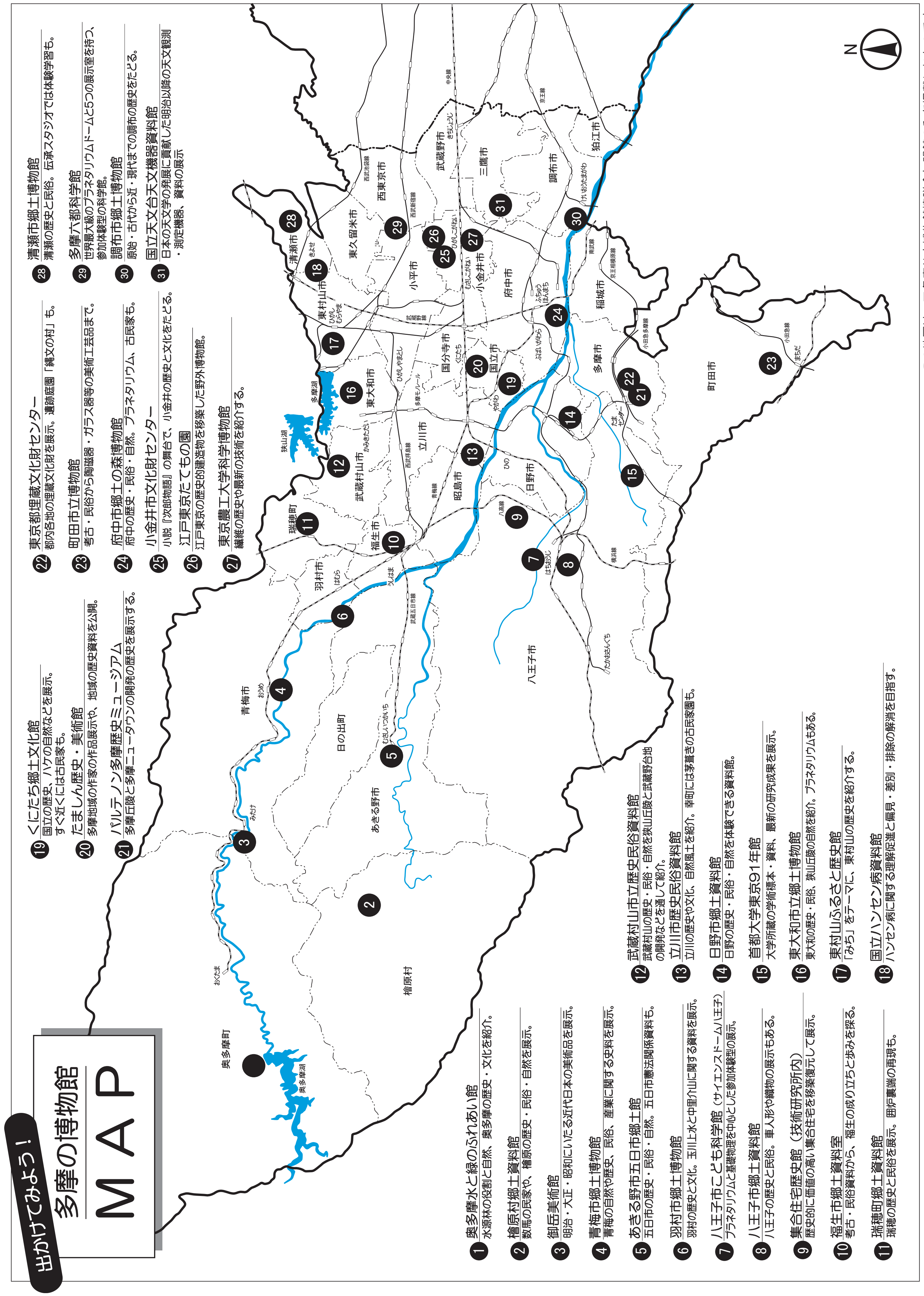
催し物案内2012年度秋・冬号

2012年10月～2013年3月



東京都三多摩公立博物館協会公式サイト「多摩の博物館に行こう」（http://tamahaku.jp）は、随時新しい情報を公開しています。

「多摩の博物館さんぽ」を見て、気になる情報があったら、こちらもチェックしてください！



29 多摩六都科学館（042-469-6100）

《緑と生活の調和》を実現する科学・技術を紹介する生涯学習施設。

開館時間	休館日	入館料
9:30 〜 17:00（入館は 16:00 まで）	月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12.28 〜 1.3）、メンテナンス休館（1.28 〜 31）	大人 500 円 小人 200 円（4 歳〜高校生） プラネタリウム・大型映像は別料金

●**第 12 回日本万華鏡大賞・多摩展**（10.13 〜 11.4）　日本万華鏡大賞公募展の応募作品の中から佳作以上の優秀作品約 30 点を展示。華やかな万華鏡の世界をお楽しみください。
●プラネタリウムドーム「サイエンスエッグ」が 7 月 7 日にリニューアルオープンしました。
新登場のプラネタリウムは、1 億 4000 万個の星を投影できるＬＥＤ光源の光学式投影機と、4 K 高精細プロジェクター 4 台を組み合わせたハイブリッドプラネタリウム。世界最大級、直径 27.5 m のドームに映し出す星空、天の川、そして、大迫力の映像をぜひ体験してください。

【URL】http://www.tamarokuto.or.jp

30 調布市郷土博物館（042-481-7656）

原始・古代から近・現代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	休館日	入館料
9:00 〜 16:00	月曜日（祝日の場合は翌日）、12.29 〜 1.3	無料

●**企画展「日活映画と調布」**（8.12 〜 10.21）大正元（1912）年に設立された日活は、今年で 100 周年を迎えます。調布に多摩川撮影所を開設したのは昭和 9（1934）年、太平洋戦争を挟み、多摩川河畔に花開いた映画文化は、一時は東洋のハリウッドとも呼ばれ、多くの作品を世に送り出してきました。調布とともに永く歴史を刻んできた映画文化を振り返ります。
●**郷土学習展「ちょっと昔のくらし」**（11 月〜 3 月）

【URL】http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html

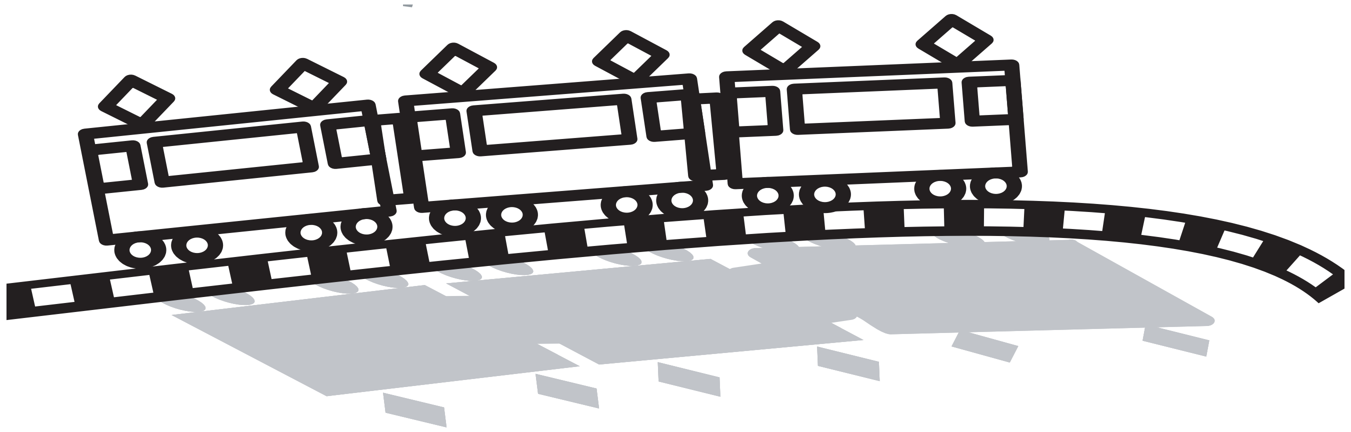
31 国立天文台天文機器資料館（0422-34-3600）

日本の天文学の発展に貢献した明治以降の天文観測・測定機器、資料の展示。

開館時間	休館日	入館料
10:00 〜 17:00	年末年始（12.28 〜 1.4）	無料

●国立天文台天文機器資料館の 2012 年秋・冬期の催し物というわけではありませんが、国立天文台では 10 月 26 日・27 日の両日、「三鷹・宇宙と星の日」という国立天文台特別公開を行います。天文機器資料館は常時一般公開をしており、何時でもお入りいただけますが、当日は案内人が詰めて説明していますのでお出かけ下さい。また、国立天文台では申込制のガイドツアーを行っており、常時一般公開では見られない個所を含めて案内します。

【URL】http://www.nao.ac.jp/about/mtk/visit/shisetsu_koukai.html



25 小金井市文化財センター（042-383-1198）

小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。

開館時間	休館日	入館料
9:00 ～ 16:30	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29 ～ 1.3 館内整備のための臨時休館日	無料

●当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語らい、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。市内の考古資料・古文書・民具をもとに、小金井市のあゆみや生活について常設展示しています。

●**企画展「地図と写真でたどる昭和の小金井」**（11.3 ～ 12.24）

【URL】http://tamahaku.jp/kojin/

26 江戸東京たてもの園（042-388-3300）

江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。

開館時間	休館日	入館料
9:00 ～ 16:30（入園は 16:00 まで）	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.28 ～ 1.4	大人 400 円、中（都外）高生 200 円、大学生 320 円、65 才以上の方 200 円、小中（都内）無料

●**収蔵品展「武蔵野の歴史と考古学」展**（7.28 ～ 12.24）　**スペシャルトーク**（10.20）　**ミュージアムトーク**（10.27）　**記念講演会**（11.10）、**スペシャルトーク**（11.17）

●**「開園 20 周年記念　近代東京とたてもの園」展（仮）**（1.12 ～ 4.7）

●**東京大茶会 2012（10.7・8）**　●**あおぞらけんちく大学校③「挑戦！けんちく体操」**（10.8）

●**体験！発見！職人さん**（10.13・14）　●**紅葉とたてもののライトアップ**（11.23 ～ 25）

●**正月飾りづくり**（12.8・9）　●**新春の昔遊び**（1.12 ～ 14）　●**たてもの園フェスティバル**（3.28）

●**伝統工芸の実演**（10.13・14、11.10・11、12.8・9、1.12・13、2.9・10、3.9・10）

【URL】http://www.tatemonoen.jp/

27 東京農工大学科学博物館（042-388-7163）

繊維技術・製品の歴史や、本学学術資料の紹介。科学博物館友の会 伝統工芸会による活動。

開館時間	休館日	入館料
10:00 ～ 17:00（入館は 16:00 まで）	日・月・祭日（特別展などの場合は開館）、創立記念日（5 月 31 日）、入試、工事などのため臨時休館する場合があります。	常設展無料

●東京農工大学科学博物館は、昨年度からの耐震工事を含む改修工事の実施により、現在全館休館とさせていただいておりますが､来たる 2012 年 10 月 3 日（水）に､一般観覧を再開する運びとなりました。皆様のご来館を、心よりお待ち申し上げております。

●**科学博物館本館リニューアルオープン**（10.3）

●**企画展示「農工大発　ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ・ｼｰｽﾞ 展　―　人と環境の未来を拓くﾃｸﾉﾛｼﾞｰ　―」**(11.10 ～ 3.2)

●**子ども科学教室**（11 月～ 1 月　各月 1 回）※日程の詳細は、当館ホームページにてお知らせいたします。

【URL】http://www.tuat.ac.jp/~museum/

28 清瀬市郷土博物館（042-493-8585）

清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。

開館時間	休館日	入館料
9:00 ～ 17:00	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29 ～ 1.3	無料

●**第 28 回清瀬美術家展**（11.10 ～ 18）　清瀬市内在住・在勤の美術家による絵画・版画・彫刻作品を展示します。

●**多摩北部 5 市美術家展**（11.27 ～ 12.2）圏域 5 市（清瀬市・小平市・東久留米市・東村山市・西東京市）の画家による作品を展示します。

【URL】http://www.city.kiyose.lg.jp/

1 奥多摩水と緑のふれあい館（0428-86-2731）

水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。

開館時間	休館日	入館料
9:30 ～ 17:00	水曜日（祝日の場合は翌日） 12.28 ～ 1.4	無料

● 奥多摩の豊かな自然とダムの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業等の紹介及び展示を映像等で分かりやすく紹介。

●**秋の奥多摩ミニコンサート**（11.17 ～ 18)　午前・午後各 1 回　計 4 回予定、出演：都民交響楽団 (有志)

●**川野「車人形」上演**（3 月予定）

【URL】http://www.okutama.gr.jp/

2 檜原村郷土資料館（042-598-0880）

数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。

開館時間	休館日	入館料
9:30 ～ 17:00 （12 月～ 3 月は 10:00 ～ 16:00）	火曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	無料

●「自然と観光」「歴史と民族」の２つをテーマに景観や動植物、遺跡発掘時の出土品及び民具並びに兜式入母屋造りと呼ばれる古民家の模型などを展示。又、村の祭りを紹介するレーザーディスクや自然の移り変わり及び村の諸行事を収めたＤＶＤ「檜原歳時記」（ブルーレイ・ハイビジョン）の鑑賞が常時可能。

●**常設展「自然と観光」「歴史と民族」**

●**「檜原村山野草標本展」**(10.1 ～ 10.31)　檜原村内で採取した山野草の標本 113 点を展示する。

●**「まゆ玉飾り」**（1.12 ～ 1.16）家内安全と五穀豊穣を祈願した、村に古くから伝わる小正月の行事。

●**「檜原村野鳥写真展」**（2.15 ～ 3.14）

【URL】http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/contents/sisetu/siryoukan/siryoukan.ht

3 御岳美術館（0428-78-8814）

明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。

開館時間	休館日	入館料
10:00 ～ 16:30 （11 月～ 3 月は 16:00 まで）	月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	一般 500 円、高大生 400 円 小中生 300 円

●**常設展示「日本近代彫刻の魁　新宿中村屋の作家たち」**
出品作家：荻原守衛、中村彝、中原悌二郎、曾宮一念、高村光太郎、他

●**企画展示「近代美術の流れ－大正の絵画」**(9.30 ～ 2.24)
出品作家：岸田劉生、河野通勢、佐伯祐三、岡鹿之助、他

●**倉田三郎記念室「旅の素描　中国を描く」**

●**スケッチの日**　開館記念日 (11.2 ～ 4) 当日ご来館の方には、記念品をプレゼント！

【URL】http://www.tamashin.or.jp/mitake.html

4 青梅市郷土博物館（0428-23-6859）

青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。

開館時間	休館日	入館料
9:00 ～ 17:00	月曜日（祝日の場合は翌平日） 12.29 ～ 1.3	無料

●**企画展「新町村開村記」**（10.6 ～ 1.27）　武蔵野台地で最初期に成立した新田集落である「新町村」開村から４００年余りの年月が経ちました。「新町村」開村について関連資料を展示し、その経過をご紹介します。

●**収蔵品展「動物大集合（仮）」**（2.2 ～ 3.24）　古代より人間と強い絆で結ばれていました動物たちは様々な物に象られ、描かれてきました。当館収蔵品より動物たちが象られ、描かれた物をご紹介します。

【URL】http://www.ome-tky.ed.jp/shakai/kyodo/index.htmll

5 あきる野市五日市郷土館（042-596-4069）

五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料も。

開館時間	休館日	入館料
9:30 ～ 16:30	火、水曜日、祝日 （水曜日が祝日の場合は翌日も） 年末年始	無料

●**ミニ企画展「郷土の古文書その 18　神社社名改名届書」**（～ 10.29）　明治元年 3 月 28 日に神仏混淆を禁止する「神仏分離令」が発布されたため、仏教と混同するような神号を唱える神社は社号を改めなければなりませんでした。この神仏分離令に際しては全国的に廃仏毀釈の波がおこり、仏像仏具及び石塔等の破壊や棄損があまりにも烈しいことから、仏像仏具の除去には粗暴な行為のないよう命じる大政官布告が出されました。

【URL】http://www.city.akiruno.tokyo.jp/contents_detail.php?co=cat&frmld=1285&frmCd=3-4-4-0-0

6 羽村市郷土博物館（042-558-2561）

羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。

開館時間	休館日	入館料
9:00 ～ 17:00	月曜日（祝日の場合は開館） 12.29 ～ 1.3	無料

●**企画展「玉川上水　かたちとやくわりのヒミツ」**（～ 12.16）模型やパネルを使い、玉川上水の仕組みを分かりやすく紹介します。
●**ミニ展示「刀ができるまで」**（～ 12.16）平成 23 年に福生市と共同で実施した、伝統文化ものつくり体験・多摩　川製鉄体験塾の記録を紹介します。
●**季節展示「正月かざり」**（1.4 ～ 1.16）羽子板や破魔矢などを紹介。　**「まゆ玉かざり」**（1.6 ～ 1.16）まゆに見立てただんごを木にかざって、まゆの豊作を願う新年の行事を再現。
●**企画展「むかしのくらし」**（1.10 ～ 1.25）昔の道具や暮らしについて紹介。　**「ひな人形展」**（2.1 ～ 3.10）

【URL】http://www.city.hamura.tokyo.jp/category/6-0-0-0-0.html

7 八王子市こども科学館（サイエンスドーム八王子）（042-624-3311）

プラネタリウムと基礎物理を中心とした参加体験型の展示。

開館時間	休館日	入館料
10:00 ～ 17:00（ただし火～金曜 9:00 ～ 12:00 は団体専用で開館）	月曜日、祝日の翌日、年末年始など	大人 200 円　4 歳～中学生 100 円 （プラネタリウム料金別）

●**プラネタリウム投影番組**「スペースエイジ～宇宙を目指すものたち」、「名探偵コナン～星影の魔術師」、「137 億光年～宇宙の果てへの旅」ほか（10.8 ～ 1.14）、“今夜の星空解説” もあります。
●**観望会　星空観望会**（10.20 ほか）　**昼間の天体観望会**（10.8）　●**天文講座**（10.6）　●**星空コンサート**（11 月）
●**大型鉄道模型に乗ろう**（10.7 ～ 8）　●**Ｎゲージ鉄道模型走行実演会**（10.13 ～ 14）
●**ＨＯゲージ鉄道模型走行実演会**（11.17 ～ 18）
●**パソコン教室　こども半日パソコン教室「年賀状を作ろう」**（11.10）　**親子ゲームプログラミング教室**（12.2）
●**科学工作教室、科学実験ショー、かんたん工作室など**（土・休日開催）

【URL】http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/gakushu/sciencedome/

8 八王子市郷土資料館（042-622-8939）

八王子の歴史と民俗。車人形や織物の体験も。

開館時間	休館日	入館料
9:00 ～ 17:00（入館は 16:30 まで）	月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日、年末年始、その他館内整理日	無料

●**特別展「八王子城」**（10.02 ～ 12.23）　八王子城御主殿跡の発掘調査から約２０年の月日が経過しました。今回はその後の調査で明らかになった事や、御主殿以外からの資料も併せて展示いたします。
●**コーナー展「七福神～八王子の恵比寿・大黒～」**（1.8 ～ 1.31）
●**コーナー展「書状からみる　新時代の幕開けと千人隊」**（2.5 ～ 3.24）

【URL】http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/rekishibunkazai/kyodoshiryokan/index.html

9 集合住宅歴史館（独立行政法人 都市再生機構 技術研究所）（042-644-3751）

歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。

開館時間	休館日	入館料
13:30 ～ 16:30	土曜日～月曜日、祝日 第 1、第 3 金曜日、年末年始	無料 ※事前予約制

●日本住宅公団昭和 30 年代の団地や同潤会アパートなどを移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。併設の研究施設も一部見学可能です。※事前予約制　予め電話かホームページで。

【URL】http://www.ur-net.go.jp/rd/

10 福生市郷土資料室（042-530-1120）

考古・民俗資料から、福生の成り立ちと歩みを探る。

開館時間	休館日	入館料
10:00 ～ 17:00	月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始、臨時 10.22 ～ 11.21	無料

●**企画展示「日本刀を作る　ー子ども体験塾の成果からー」**（9.15 ～ 10.21）
平成 23 年度実施事業を通してたたら炉による製鉄や、刀の鍛錬、研磨など、日本刀ができるまでの製作工程を紹介します。また、多摩川の砂鉄から作成した日本刀も展示します。
●**企画展示「小正月とミキノクチ」**（11.22 ～ 2.3）　お正月の飾り物であるミキノクチと、その製作技術等を紹介します。展示期間中ミキノクチ作成実演会を実施する予定です。
●**特別展示「新聞錦絵展（仮称）」**（2.9 ～ 4 月中旬）　今年度寄贈された「穎原退蔵・尾形仂家旧蔵錦絵資料」の中から、明治時代に発行された木版錦絵と文章でニュースを伝える「新聞錦絵」を中心に紹介、展示していきます。また記念講演会も予定しています。

【URL】http://www.museum.fussa.tokyo.jp

20 たましん歴史・美術館（042-574-1360）

多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。

開館時間	休館日	入館料
10:00 ～ 18:00 （入館は 17:30 まで）	月曜日、祝日 年末年始	100 ※中学生以下無料

●**倉田三郎生誕 110 年記念展「倉田三郎が描いた風景画」前期**（9.11 ～ 10.14）
●**倉田三郎生誕 110 年記念展「倉田三郎が描いた風景画」後期**（10.30 ～ 12.9）
●**東洋古陶磁展**（1.8 ～ 3.24）

【URL】http://www.tamashin.or.jp/

21 パルテノン多摩歴史ミュージアム（042-375-1414）

多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。

開館時間	休館日	入館料
10:00 ～ 18:00	不定休（10/17・18、11/13・14、12/27-1/3、1/22-24、2/19-21、3/12・13）	無料

●**企画展「街から子どもがやってきた～戦時下の多摩と学童疎開～」**（～ 11.12）　**企画展関連講演会「品川から多摩へ～多摩の学童疎開を考える～（仮）」**（10.28）
●**開館 25 周年記念事業展示「つながる！市民の力～市民と歩んだ 25 年～」**（9.29 ～ 10.14）
●**企画展「お茶で一服！～自家用茶と多摩の暮らし～（仮）」**（11.15 ～ 3.11）　お茶を自給していた時代を振り返ることで、自家用茶と多摩の人々の関わりについて考える。
●**みんなの植物観察会**（毎月第 2 火曜日）　●**植物観察会ステップアップコース**（毎月第 4 木曜日）
●**植物観察会ステップアップコース**（毎月第 4 木曜日）
●**連続講演**（2013 年・全 5 回予定）

【URL】http://www.parthenon.or.jp/museum/

22 東京都埋蔵文化財センター（042-373-5296）

都内各地の埋蔵文化財を展示。遺跡公園「縄文の村」も。

開館時間	休館日	入館料
9:30 ～ 17:00（ただし遺跡庭園は 11 月～ 3 月は 16:30 に閉館）	12.29 ～ 1.3 3.15 ～ 3.19	無料

●**縄文食体験**（11.3、11.4）　●**縄文の村自然観察会②**（10.21）
●**縄文アクセサリー教室**（10.27、1.26、2.23、3.30）　●**古代布作り教室**（11.23）
●**トンボ玉作り教室**（12.1、1.19）●**文化財講演会**（11.10、2.6、2.13、2.20）　●**映像上映会**（1.26）
●**発掘調査発表会**（3.23）

【URL】http://www.tef.or.jp/maibun/

23 町田市立博物館（042-726-1531）

考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。

開館時間	休館日	入館料
9:00 ～ 16:30	月曜日（祝日の場合は翌日） 展示替期間 資料整理期間　館内整理期間（11.26 ～ 1.28）	300 円 ※中学生以下無料、障がい者半額

●**「ボヘミアン・グラス」**（9.29 ～ 11.25）　当館のガラスコレクションの中でも重要な位置を占める 16 世紀から 20 世紀のボヘミアのガラス作品約 130 件を一挙大公開します。
●**「笑いの中に～近代の戯画・風刺画～」**（1.29 ～ 3.3）　当博物館所蔵戯画・風刺画の中から、明治期～昭和十年代までの作品をご紹介します。
●**「忠生遺跡」（予定）**（3.16 ～ 6.2）　過去２回の『忠生遺跡展』出品物に加え、その後の調査で出土した新資料も一堂に会し、総合的な忠生遺跡の姿を初めてご覧いただきます。

【URL】http://www.city.machida.tokyo.jp/

24 府中市郷土の森博物館（042-368-7921）

府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。

開館時間	休館日	入館料
9:00 ～ 17:00	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29 ～ 1.3、年末年始	大人 200 円 4 歳～中学生 100 円

●**企画展「家の神さま仏さま」**（10.20 ～ 4.7）　府中市域の家でまつられている神さま仏さまを紹介します。
●**特別展「あしもとの遺跡　発掘！多摩の江戸時代」（仮題）**（1.26 ～ 3.10）　発掘された江戸時代の遺跡と遺物から、多摩地域における歴史の転換をながめ、人びとの営みを復元します。
●**「郷土の森梅まつり」**（2 月～３月上旬）園内に咲き誇る梅の花をお楽しみください。

【URL】http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html

11 瑞穂町郷土資料館（042-568-0634）

瑞穂町の歴史と民俗資料を展示。囲炉裏端の再現も。

開館時間	休館日	入館料
9:00 ～ 17:00	月曜日、毎月 16 日 （16 日が月曜日の場合は 17 日） 祝日、12.29 ～ 1.3	無料

●**常設展示**（通年）
●**企画展「瑞穂町の石造文化財」**（11.13 ～ 1.31）当館では、石造物調査以来 40 年が経過し、石造物を取り巻く環境が変化したことから、その状況の再調査を進めています。今回は神社仏閣や街道沿いに現存する石造文化財を中心に調査した結果を展示します。
●**「みずほはたおり探検隊作品展」**（10.27 ～ 11.11）当館では、伝統工芸品「村山大島紬」を題材に機織り・染色体験事業を行っています。その体験で制作した作品を展示します。

【URL】http://www.town.mizuho.tokyo.jp/shisetsu/kyoudo.html

12 武蔵村山市立歴史民俗資料館（042-560-6620）

武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。

開館時間	休館日	入館料
9:00 ～ 17:00	第 1 月曜日、第 3 水曜日 （祝日の場合は翌日） 12.28 ～ 1.3	無料

●**特別展「武蔵村山の古刹『眞福寺』」**（10.6 ～ 12.9）
●**文化財見学会「眞福寺とその周辺の文化財を巡る」**（10.20）　●**歴史講座「眞福寺を語る」**（11.17）
●**年中行事展「正月飾り」**（12.22 ～ 1.13）「**桃の節供**」（2.2 ～ 3.5）　●**自然観察会「狭山丘陵の早春」**（3.9）
●**ミニ企画展「武蔵村山の戦争資料」**（3.10 ～ 3.31）

【URL】http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryoukan/index.html

13 立川市歴史民俗資料館（042-525-0860）

立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺きの古民家園。

開館時間	休館日	入館料
9:00 ～ 16:30	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.28 ～ 1.4	無料

●**企画展「立川の文化財」**（11.1 ～ 11.30）　東京文化財ウィーク 2012 関連事業として、立川の都指定有形文化財「銅鉦鼓」を展示します。また、「銅鉦鼓」の公開に併せて、普段公開していない市指定の文化財も紹介します。
●**ミニ展示「桃の節句展」**（2.2 ～ 3.3）市内幸町の古民家でも展示します。
●**企画展「新収蔵品展」**（3.17 ～ 4.14）今年度新たに収蔵された資料を紹介します。

【URL】http://www.city.tachikawa.lg.jp/cms-sypher/www/section/detail.jsp?id=154

14 日野市郷土資料館（042-592-0981）

日野の歴史・民俗・自然を体験できる資料館。

開館時間	休館日	入館料
9:00 ～ 17:00	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29 ～ 1.3	無料

●**日野の水車**（8.4 ～ 10.28）日野は用水が発達していたので、かつては水車がたくさんありました。今は、すっかり姿を消してしまった水車を利用した、様々な暮らしについて紹介しています。
●**巽聖歌と新美南吉**（11.3 ～ 12.28）　日野市で後半生を過ごした「たきび」の詩人巽聖歌と、日本を代表する童話作家新美南吉、代表作「ごんぎつね」について紹介します。
●**特別展　市制 50 周年**（10.10 ～ 12.9）　来年、市制 50 周年を迎える日野市は、今年・来年と 2 年間を費やし日野市の通史を完成させます。今年は、新選組から、日野市の明治・大正・昭和 (終戦まで) を紹介します。
●**今年もやります「どんど焼き」**（1.12）　市民の皆さんと協働して、伝承行事「どんど焼き」を続けて早 8 年目。市民の皆さんのお楽しみです。

【URL】http://www.city.hino.tokyo.jp/museum/

15 首都大学東京 91 年館（042-677-1111）

大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。

開館時間	休館日	入館料
11：00 ～ 17：00	土～月曜日、祝日、夏季 8/8 ～ 9/30、冬季 12/25 ～ 1/3、春季 2/9 ～ 4/7　臨時休館あり	無料

●**企画展「東京の大自然と生命科学研究」**（10.24 ～ 11.6）　**講演会**（10.27）　東京の山、海、島々に生息する多様な生き物たちと、これらに関する研究成果を間近にご覧頂けます。
●**企画展「縄文集落と森林利用」**（3.13 ～ 3.26）　**公開シンポジウム**（3.16）　縄文集落の形成と森林利用の関係について、科学研究費補助金による最新の研究をもとに紹介します。
※企画展開催時は上記休館日に関わらず開館致します。

【URL】http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html

16 東大和市立郷土博物館（042-567-4800）

東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。プラネタリウムもある。

開館時間	休館日	入館料
9:00 ～ 17:00	月曜日（祝日の場合は翌日） 祝日の翌日、12.28 ～ 1.4	無料（プラネタリウムは有料）

●**野草スケッチ展「植物画を描く」**（10.20 ～ 12.9）　●**市内狭山丘陵文化財めぐり～西コース編**（10.28）
●**自然観察会 / 空堀川の鳥たち**（10.14）**/ どんぐり工作**（10.21）**/ 野草教室**（11.10）**/ ﾊﾞｰﾄﾞｳｫｯﾁﾝｸﾞ**（12.2）
●**昼間の星の観察会**（11 月・1 月）**/ 星空観察会**（11 月）
●**プラネタリウム / 秋番組**（9.15 ～ 12.9）「宇宙兄弟～一点のひかり」**/ 冬番組**（12.15 ～ 3.10）「シンシンの星空ガイド～中国の星座」**/ ｸﾘｽﾏｽ特別番組**（12 月）

【URL】http://www.city.higashiyamato.lg.jp

17 東村山ふるさと歴史館（042-396-3800）

「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。

開館時間	休館日	入館料
9:30 ～ 17:00(入館は 16:30 まで)	月・火曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館）	無料

●**企画展「民俗芸能としての双盤念仏」**（10.6 ～ 12.16）　多摩地域周辺では、昭和初期まで、双盤という大きな鉦をたたきながら、唄のような節を付けた念仏を唱える「双盤念仏」の行事が盛んでした。残された道具類や記録類、また現在も継承されているところの事例等を含めて紹介します。
●**社会科見学対応展示「なつかしい暮らしと道具たち」**（1.9 ～ 3.9）
●**八国山たいけんの里**　住所：東村山市野口町 3-48-1　電話：042-390-2161

【URL】http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/

18 国立ハンセン病資料館（042-396-2909）

ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。

開館時間	休館日	入館料
9:30 ～ 16:30(入館は 16:00 まで)	月曜および「国民の祝日」の翌日、年末年始、館内整理日	無料

●**秋季企画展「癩院記録（らいいんきろく）―北條民雄が書いた絶対隔離下の療養所―」**（10.6 ～ 12.27）
小説「いのちの初夜」で知られる北條民雄の随筆「癩院記録」「続癩院記録」を展示化したものです。絶対隔離下のハンセン病療養所を記録したこの随筆には、どれほど症状が重くても、たとえ病気の進行が止まらなくても、それでも人間として生きることの尊さが描かれています。今日的課題に通じる北條民雄のメッセージに、ぜひふれてみてください。

【URL】http://www.hansen-dis.jp/

19 くにたち郷土文化館（042-576-0211）

国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。

開館時間	休館日	入館料
9:00 ～ 17:00 （入館は 16:30 まで）	第 2、第 4 木曜日（祝日の場合は翌日） 12.29 ～ 1.3	無料

●**秋季特別展「くにたちの河岸段丘・ハケ展」**（10.19 ～ 12.10　10.25、11.8、11.22 は休館日）
くにたちの地形を特徴づける「ハケ」（河岸段丘）の成り立ちや人びととの関わり方などについて展示します。
●**「郷土文化館まつり」**（10.21）　太鼓や踊り、箏・尺八、吟詠の活動を行っている団体が日ごろの成果を発表します。
●**「むかしのくらし展」**（1 月～ 3 月）　●**「くにたちの作家　三浦小平二・関頑亭」**（～ 3 月）
●**古民家伝統行事・体験教室**　節分の豆まき、わら細工教室（しめ縄飾）、繭玉飾り、菱餅作りなどを予定しております。

【URL】http://www.kuzaidan.com/province/index.html